

DAWN 通信

第23号

2016.3

★平成28（2016）年4月～

ドーンセンター指定管理受託決定

■はなみずきスタディツアー報告

■イコラム情報

■平成27年度事業受託・講師派遣等実績

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団（愛称：ドーン財団）は「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる、真に豊かな社会の実現に貢献します。

女性活躍推進の時代におけるドーン財団の役割

平成27（2015）年8月に女性活躍推進法が成立し、社員数300人超の企業は平成28（2016）年4月1日までに自社の女性活躍の状況と行動計画を公表することになった。この法律は自社の現状分析に役立つよう工夫されており、女性社員を育成していこうと考える企業にはよい機会である。

振り返れば、安倍首相が「女性の活躍」を唱え始めたのはつい3、4年前。安倍首相は、伝統的家族を大事にして、「育休3年で抱っこし放題」などの発言をしているのに、と感じながらも、企業の担当者たちはアベノミクスを部分的に活用する方法を考えた。

あれから3年、世界の金融機関がこぞってPRI（国連責任投資原則）に署名し、日本でも追随する機関投資家がふえ、上場企業はコーポレート・ガバナンス・コードで縛られ、企業を取りまく様相は激変している。投資家が「損したくないなら、マトモな（ESG《環境・社会・ガバナンス》をきちんと考えている）会社を選ばなくちゃ！」とようやく気づいた。「マトモな会社なら、まさか50代以上男性だけで重要事項を決めてなんかいないよね？」「取締役会の構成は？ 女性は何人？」等の質問を企業は受けねばならない。

「だから女性活躍は放っておいても進む」という声もあるが、なんのなんの、こんな時代だからこそドーン財団の役割は重要だ。

「3年育休説」は鳴りをひそめはしたが、「伝統的家族主義」は端々に顔を出す。女性活躍の形だけ整え、魂を入れない企業もある。女性自身が成長を望まない等々「取り組まない理由」を言い立てたり、育成対象の女性とそれ以外の女性を分断し対立させたり。また女性活躍の方法論をまだ知らない企業もある。

だからドーン財団には、「社会的包摂」「女性のエンパワメント」とは何なのか、進めるとどんなよいことがあるのか分かりやすく示し、マトモな社会をつくるための道しるべの役割を担っていただきたい、と切に願っている。

ただいま、情報発信中！

財団ホームページ

<http://www.dawn-ogef.jp>



Twitter

https://twitter.com/O_G_E_F

帝人株式会社 CSR・信頼性保証部CSRグループ長
黒瀬 友佳子

「ドーン運営共同体」が引き続きドーンセンターの管理運営を受託

平成 28 (2016) 年度から 5 年間、ドーンセンターを管理運営する次期指定管理者に、ドーン財団を代表として 4 団体で構成する「ドーン運営共同体」が決まりました。大阪府による公募選考で選ばれたものです。ドーン財団としては、今期に続きドーンセンターの指定管理業務に参画することになり、一層のサービス向上に努めます。

次期指定管理では、開館日数が年間 20 日程度増えます。併せてホール、会議室などの貸館業務に新たに情報ライブラリー (2階) の運営が加わります。これに伴って施設利用の受付窓口が 3 階から 2 階に移転し、情報ライブラリーと一元化します。

これらサービス向上策の詳しい内容や実施時期については、ドーンセンターのホームページなどで随時お知らせします。

※ドーンセンターホームページ

(<http://www.dawncenter.or.jp>)

【ドーン運営共同体の構成団体】

ドーン財団 ((一財) 大阪府男女共同参画推進財団)
(一財) 大阪府青少年活動財団 NPO 法人大阪現代舞台芸術協会 (株) 菱サ・ビルウェア

【次期指定管理業務の契約期間】

平成 28 (2016) 年 4 月～平成 33 (2021) 年 3 月

事業報告①

シングルマザーの応援フェスタ

<平成27(2015)年11月21日実施>

ドーン財団では、これまでもシングルマザーのためのセミナーや職業訓練を実施し、支援に取り組んできました。今回はみずほフィナンシャルグループ様の協賛をいただき、シングルマザーを応援する催しを開催しました。参加者にプレゼントする就労用のスーツやかばんをご寄付くださり、当日は社員の方がボランティアで会場設営や受付を担当してくださいました。ご支援をいただきありがとうございました。

応援フェスタは、まずウィメンズカウンセリング京都の小松明子さんの「自分のケアがとても大切。いつもがんばっている自分をいっぱいほめてください。」というお話からスタート。そして全日空白鷺会大阪有志(キャビンアテンダントOG会)の方々が参加者のグループに加わり、ハーブティーを飲みながらシングルマザー同士で思いを語り合いました。「同じ立場の人とこんなにいろんな話ができたのは初めて。」「先輩の話を聞いたら不安がなくなってほっとした。」といった感想をいただきました。



プレゼント用のスーツを受け取った方からも「スーツは高価なのでなかなか買えずにいたけど、今度の就職面接にさっそく着ていきます。」などと喜びの声がありました。その他にも総合相談コーナー、子ども向けのバルーンアートコーナー、アロマハンドケアコーナーを設けました。特にアロマハンドケアは、長い列ができるほど大盛況でした。

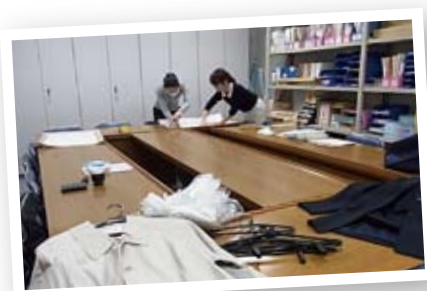
(スーツプレゼントコーナー)



開催にあたって、裏方として大活躍してくれたのは大学生ボランティアの方々です。今回のフェスタについて趣旨や経緯をきちんと理解してもらった上で、学業の合間を縫って事前準備を手伝っていただきました。

当日も会場で各コーナーを運営しながら現場の空気を感じていただきました。このように次世代を担う方たちに参加してもらえたことも当フェスタ開催の大きな成果となりました。

(大学生ボランティアによる準備の様子)





「バンクーバーのNGOに学ぶ」を実施しました。

はなみずきスタディツアーはドーン財団が企画するオリジナルなツアーです。過去に実施した際に好評であったバンクーバーの女性を支援するNGOを再度訪問、交流を深めました。それぞれの団体の取組を紹介します。

カフェ Coffee & Chocolate Cafe “East Van Roasters”

バンクーバーで最も美味しいと評判のチョコレートショップ&カフェ。暴力被害や貧困、薬物依存、人種差別などのさまざまな困難を抱えた女性たちが社会復帰トレーニングをしながら働いている。マネージャー(女性)は「美味しいチョコやコーヒーを提供することが一番!するとお客さんがリピーターになってくれる。ビジネスが継続できる。そして女性の自立も応援できる。」



OPTIONS Community Services “Growing Together”

OPTIONSは400人の職員が一時保護所の運営や福祉的サービス等70事業を実施するBC州最大のNGO。1986年に公立高校に併設された一時保育室: Growing Togetherを運営、現在は0～3歳の赤ちゃん15人を預かり、女子高生ひとり親を支援している。毎朝・昼食を母子に提供。母は1日1コマ、親業やお金の管理、人間関係訓練等の生きる力を学ぶ講義を受講している。スタッフは裁判や家探し等さまざまな支援を担当。

「お母さんの教育は子どもの幸せにつながる。負の連鎖を断ち切りたい。」



一時保育室:
Growing Together

WAVAW Rape Crisis Centre

性暴力被害者の同行支援やアドボカシー活動、カウンセリングやサポート・グループ等を行っている。先住民の女性支援にも力を入れている。メディアを活用した暴力防止のキャンペーンをするとともに、高校や大学でも暴力予防教育に努め、今後は教員向けにも研修をしていくとのこと。

WAVAWは1982年に女性2人が立ち上げた草の根のグループ。「活動が30年を超えました。社会の変化はゆっくりです。でも進んだことは戻さないようにしたい。」

Surrey Women's Center

Surrey はインド系の人々が多い地区。被害者の同行支援やさまざまな精神的ケア、裁判支援、シェルター入所後の生活も支援する。24時間ホットラインを設置、29人の専門スタッフが勤め、7言語で対応。毎週1回は寄付の衣服や小物などを配付している。併せて簡易クリニック開設、住宅やさまざまなサービス等の情報交換を行い、女性たちが地域で孤立しないよう、支援グループにつなぐことを心がけている。

Battered Women's Support Service

1979年設立。1年間に10,000件の女性相談を受理、移民と先住民女性からの相談が6割を超える。15～16人のスタッフと250人を超えるボランティアが子どもや青少年の性暴力・虐待、DV被害者支援にあたる。最近では若年者に向けたデートDV防止のプログラム実施に力を入れている。社会起業としてMy Sister's Closet (セレクト・リサイクルショップ)を運営。



◆平成28(2016)年もツアーを実施予定です。

＜ツアー実績＞カナダ/バンクーバー(2014年)、アメリカ/デンバー(2013年)、韓国/木浦・ソウル(2012年・共催)、韓国/釜山・ソウル(2011年)

伊賀市役所 人権生活環境部
人権政策・男女共同参画課 男女共同参画係
岩野 敬子



ドーン財団は平成 23 (2011) 年から東大阪市より事業を受託し、東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムの管理運営を担っています。

市民協働事業がスタート

東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムでは平成 27 (2015) 年度より市民協働事業がスタートしました。男女共同参画社会実現のために、市内で活動するグループや団体・市民とイコーラムを運営するドーン財団が協働して、講座や展示・交流会・上映会などの事業を実施しています。

◆実施内容

(1) 協力

市民のみなさんが開催する催しについて、チラシの配布やイコーラムのウェブサイト掲載などの広報をはじめとして、事業企画の相談、一時保育の実施が協力内容です。

(2) 企画

講座・セミナー、展示、上映会など、提案された企画を財団の主催事業として開催します。企画についての相談、会場や講師謝礼などの費用負担、広報を財団が担います。

(3) 企画委員の募集

暮らしやすい地域にしていくためのアイデアを出し合って企画・運営に関わる企画委員を募集します。



◆対象となる事業について

(1) 男女共同参画社会の実現のために企画された事業であること

東大阪市第 3 次男女共同参画推進計画に添う事業が対象となります。

＊東大阪市第 3 次男女共同参画推進計画

(<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000001977.html>)

(2) 広く市民に開かれた事業であること

(3) 各年度内に実施すること

(4) 営利を目的とした事業でないこと

(5) 入場料の徴収、物品の販売を伴う事業でないこと



平成 27 (2015) 年度の実施事業

市民協働事業がスタートした今年度は、団体・個人計 3 件の企画応募をいただきました。このうち 2 件を財団自主事業として実施しました。第 1 弾は、平成 27 (2015) 年 11 月 1 日からの 5 回連続講座「みんなでつくろう！まちものがたり紙芝居」です。

平成 26 (2014) 年 9 月から東大阪市が主催しているまちづくり意見交換会で、「東大阪の郷土史を子どもたちに伝えたい。そのためのツールとして紙芝居を創ろう」

という意見が出されました。この意見を実現する一歩として、市民協働事業で紙芝居を創る講座を実施しました。

三田市で紙芝居サークル「おもちゃ箱」を主宰する辻太一さんを講師に、地域に残る郷土史をまちものがたりとして、10 コマ程度の紙芝居を創りました。今回の講座で、東大阪市稲田地域で復活した稲田桃^{いなもちもくさか}や日下地域の水車^{くさか}の話など、8 作品が生まれました。完成した作品の一部は、イコーラムで閲覧できるように調整中です。



ドーン財団の平成27年度事業受託・講師派遣等の実績は次のとおりです。

(平成28年〈2016〉2月29日現在)

【受託事業】

■大阪府（府民文化部）男女共同参画推進事業に関する業務（～27年度）／（健康医療部）不妊専門相談センター事業／（商工労働部）母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練

■東大阪市／東大阪市立男女共同参画センター指定管理事業（～30年度）

■内閣府／東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業／女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業／性犯罪被害者等のための総合支援モデル事業／性犯罪被害者等支援体制整備促進事業

■経済産業省中小企業庁事業／平成26年度補正予算「地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」

■三重県伊賀市 ■泉大津市 ■大阪女学院大学・短期大学

■近畿大学

【講師派遣等】

大阪府／和泉市／泉大津市／河南町／四條畷市／東大阪市／大東市人権協会／岸和田市人権協会／同志社大学／甲南女子大学／滋賀県立大学／大阪府立春日丘高等学校（定時制）／大阪府立四條畷高等学校／大阪府立枚方高等学校／大阪成蹊女子高等学校／交野市立第二中学校／国立女性教育会館／一般社団法人大阪青年会議所／はびきの市民大学／女性と子ども

ものエンパワメント関西／吹田市立男女共同参画センター／京都府男女共同参画センター／全国女性会館協議会／総務省近畿管区行政評価局／守口市PTA会員と教職員の集い

【委員応嘱等】

全国女性会館協議会理事／おおさか市町村職員研修研究センター運営審議会委員／田尻町人権擁護審議会委員／大阪府市町村振興協会評議員／大阪府立大学「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」外部評価委員／公正採用人権啓発推進センター認証審査委員／大阪弁護士会人権賞選考委員／門真市社会教育委員／交野市男女共同参画審議会委員／守口市男女共同参画審議会委員／四條畷市男女共同参画審議会委員／門真市男女共同参画審議会委員／門真市図書館協議会委員／国立女性教育会館「女性情報レファレンス事例集」サポートメンバー／国立国会図書館レファレンス協同データベース事業企画協力員／専門図書館協議会関西地区連絡会委員 等

【助成金を獲得した事業】

■在日米商工会議所（ACCJ）関西支部／働く女性のためのセミナー、シングルマザーのためのセミナー 等の開催

■みずほ社会貢献ファンド（役職員募金）

民間企業等派遣研修員の受入れ

ドーン財団では次世代育成事業の一環として、大阪府教育委員会の民間企業等派遣研修員を受け入れています。財団での半年間を振り返って、メッセージをいただきました。

【感想】

昨年（2015年）10月より、研修や催しの企画・運営の業務を経験させていただいています。企画、広報、関係する方々との連絡調整、参加者との連絡、予算の収支報告など、業務は多岐に渡ります。初めて経験する業務がほとんどで、いつも緊張感と充実感を感じています。

さまざまな企画を通して各分野の第一人者や多種多様な考え方の方からお話を伺えるため、仕事というよりは自己研鑽できる貴重なご褒美をいただいているようです。女性が自分らしく人生を切り拓いていくこと、というテーマを切り口に、性、子ども、障がい、就労、貧困、平和などさまざまな人権問題を学ばせていただいています。4月に学校に戻ってから子どもたちや保護者、教員仲間に、ここでの学びをいかに伝えていけばいいのだろうかと思うことが、私のあらたな課題となっています。

西野佳奈（大阪府内小学校教諭）

研修期間：2015年10月1日～2016年3月31日

シングルマザーの応援フェスタ、シングルマザーのためのはなみずきセミナーのほか、内閣府受託事業、共催事業等を担当。

ドーン財団

財団がドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）を拠点に活動してきたことにちなむ愛称。ドーンセンターとともに、ドーンと進んでいこう、という思いを込め、設立20周年を記念して平成26（2014）年度に決めました。ドーンセンターは、平成6（1994）年の開館時に大阪府の公募によって選ばれた愛称で、「夜明け」や「物事の始まり」を意味する英語DAWNと、大阪の女性たちの「ドーンと行こう」という心意気を表しています。

賛助会員募集中

賛助会員の皆さまには、当財団が実施している事業の案内をお届けするほか、当財団が指定する事業に会員割引で参加できるなどの特典があります。詳しくは、財団ホームページをご覧ください。

<http://www.dawn-ogef.jp/support/index.html>

財団に関する最新情報はホームページでご案内しています。

[ドーン財団]で検索。

→<http://www.dawn-ogef.jp>

ドーン財団

検索

デザイン・レイアウト メディアアイランド

編集・発行 ドーン財団（一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団）

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49

大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

TEL：06-6910-8615 FAX：06-6910-8624

<http://www.dawn-ogef.jp>

発行日：平成28（2016）年3月15日